

<b>留 学 報 告 書</b>
------------------

記入日:2019年10月6日

所属学部／研究科・学科／専攻	政治経済学部 政治学科
留学先国	アメリカ合衆国
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: カリフォルニア大学アーバイン校 現地言語: University of California, Irvine
留学期間	2019年6月～2019年9月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	2年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2019年9月13日
明治大学卒業予定年	2022年3月
<b>留学先大学について</b>	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:9月中旬～12月上旬      2 学期:1月上旬～3月中旬 3 学期:3月下旬から6月上旬 (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	約 35,000 人
創立年	1965 年

留学費用項目	現地通貨 (米 ドル(\$))	円	備考
授業料	4,886	553,564 円	
宿舍費	2,112	236,814 円	
食費	783	86,100 円	
図書費	136	15,000 円	
学用品費	0	0 円	
教養娯楽費	771	84,830 円	アクティビティー代、ウーバー代、お土産代など
被服費	0	0 円	
医療費	0	0 円	
保険費	680	76,563 円	形態:UCI 指定の保険と明治大学指定の保険
渡航旅費	966	106,244 円	
雑費	1,031	116,808 円	
その他	200	21,940 円	ポケット Wi-Fi(日本でレンタルして持参)
その他	350	36,000 円	パスポート、ビザ(SEVIS)申請代
その他		円	
<b>合計</b>	<b>11,915</b>	<b>1,333,863 円</b>	

## 渡航関連

渡航経路: 羽田～LAX、LAX～成田

渡航費用

チケットの種類 エコノミー

往路 \_\_\_\_\_

復路 \_\_\_\_\_

合計 \_\_\_\_\_ ¥106,244 (往復)

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

アメリカン航空

## 滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舎など)

寮

2) 部屋の形態

 個室 OR  相部屋(同居人数 2 人)

3) 住居を探した方法:

インターネット

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

ほかの明治大学生も全員同じ寮だったので 1 階の共同スペースで話したり出来て不安が和らいだ。寮にはクーラーがないが、日本の夏と比べて湿度や気温が低かったため特に問題なく過ごせた。一階の共同スペースでほかの留学生や現地生と話せたり、部屋ではルームメイトと共同で生活するので、英語に触れる機会が自然と多くなって良かった。共同のキッチンやごみ箱が汚かったときもあったが、それ以外は特に問題は感じなかった。

## 現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

 利用する機会が無かった 利用した:

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

大きな問題はなかったが、わからないことなどは UCI のスタッフが親身に対応してくれた。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

旅レジ(外務省からのメール)は頻繁に確認していた。財布はメインの財布以外に現金や予備のクレカを入れた財布をスーツケースに保管し、パスポートも必要のない限りはスーツケースの奥にしまっていた。ポケットに財布を入れないように心がけ、人が多い都市に行く際は常に携帯や財布があるか確認した。犯罪には巻き込まれなかった。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能だったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮や大学のキャンパス内、近くのジムには Wi-Fi が通っており、快適に使えた。(パソコン、スマホともに)。それ以外の場所(スーパーや通学路など)ではあまり Wi-Fi は通っていなかった印象。自分が持っているスマホの機種が Android でアメリカの SIM カードに対応していなかったため、常にポケット Wi-Fi を携帯する必要があった。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

日本から事前に両替して持って行った現金と、基本はクレジットカードを支払いに利用した。現地で現金を引き下ろしたり、日本の親から仕送りを送ってもらうという事はなかった。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

日本食のスーパーはあるが車を使う必要があるため、基本的な調味料やみそ汁などは持っていくと便利。シャンプーなども髪や肌に合うか不安であれば使い慣れているものを持っていくとよい。現地での薬は体に合うかわからないので、常備薬や目薬など日本で医者から処方されて普段使用しているものは多めに持っていくことを強く推奨する

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

渡航前にクレジットカードで支払った。

## 卒業後の進路について

## 1) 進路

就職    進学    未定    その他:

## 2) 進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

(例: 留学中の就職活動に向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)

※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

留学前はあまり意識していなかったが、留学を通して外資系の職種にも興味を持つようになった。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。



### 学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
14 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: )
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
PSYCH 7A:Introduction to Psychology	心理学入門
科目設置学部・研究科	
履修期間	session 1
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 170 分が 2 回
担当教授	John Hagedorn
授業内容	心理学の基礎やその歴史、有名な心理学者の実験などについて学ぶ。それらに関わる生物学や現代における心理学、教育学などについても触れる。
試験・課題など	試験は中間・期末ともにマークシート(中間 50 問、期末 70 問)のみ。問題は授業で習ったことが言い換えられて出題されていることが多いが、内容をしっかり理解できていれば大丈夫。任意課題(extra credit)として自分で予想問題とその解答の選択肢を書いた紙の作成があった。
感想を自由記入	授業内容は専門用語が多く出てくるものの、なるほどと思わせられる内容が多く、現代にも通じている部分も学べて受けていて楽しかった。教授もとても優しい人で、わからないところや疑問点に対して丁寧に答えてくれた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Sociology 2: Global and Transnational Sociology	社会学(グローバルゼーション)
科目設置学部・研究科	
履修期間	session 1
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 170 分が 2 回
担当教授	David A. Smith
授業内容	なぜ世界には格差があるのか、資本主義経済における雇用者と労働者問題、移民などグローバルゼーションについての内容を扱う。
試験・課題など	中間・期末ともに選択式問題(30点)と記述(70点)の計 100 点満点。ほとんどの授業のはじめに復習の小テスト(10 問)を行う。課題は自分が興味を持った国際問題についての要約(abstract)とそれについて詳しく述べたもの(final paper)の提出。
感想を自由記入	現代の世界について大まかに知ることができ、とても実用的な授業だった。リーディング量が多くて大変だった。教授は明るい人で、生徒自身に物事を考えさせる人だった。一時間くらいの動画の内容がテストに出たり、記述を書く際の指定が多いなど、テストは難しかった。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
POL SCI 21A: INTRO AMERICAN GOVT	アメリカ政治学入門
科目設置学部・研究科	
履修期間	session2
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 170 分が 2 回
担当教授	Graeme Boushey
授業内容	アメリカが独立してからどのような経緯(憲法成立、三権分立など)をたどって現在の政治体制を築き上げたのかを歴史、重要な人名やキーワードに触れながら理解していく。
試験・課題など	試験は中間と期末ともにあり、すべてエッセイ(記述問題)。事前にスタディーガイドが配られるのでそれを参考にしながら勉強すると効果的。あとは授業内のディスカッションで評価される。
感想を自由記入	現在世界をリードする大国が今に至るまでにどのような過程を経て形成されていくのかを 歴史や現在の政治体制、選挙の仕組みを通して学ぶことが出来てよかった。教授よりも TA のほうが話しやすく、わからないところは積極的に質問し、それらに対してわかりやすく解説をしてくれた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
AC ENG 29: University Writing and Communication	アカデミックイングリッシュ(ライティング&コミュニケーション)
科目設置学部・研究科	
履修期間	session 2
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義、グループワーク(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 80 分が 2 回
担当教授	Brandon Wolff
授業内容	スマホアプリを使用したクイズ(文法などの)を授業中行ったり、英作文の演習、添削、直しなど、英作文を書く上での重要なポイントを学ぶ。
試験・課題など	試験はあるもののウェイトは高くなく、毎日出される日々の課題(クイズ、英作文の直し、動画など)を欠かさず提出することが重要。
感想を自由記入	参加している学生のほとんどが留学生で、授業も基礎的なことだったので内容は難しくはなかったが、授業の内容は濃く、英作文をどのように書けばよいかを知れてとてもためになった。課題量は多い。先生は日本通で、とても親しみやすかった。



### 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2017年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	
2018年 1月～3月	
4月～7月	明治大学入学 留学に興味を持つ（7月頃）
8月～9月	
10月～12月	説明会などに行つて UCSS に参加したいと考え始める。(10、11月) 出願(12月)
2019年 1月～3月	UCI の授業登録が始まる(3月)
4月～7月	留学に行くまで明治大学の授業を受けつつ、寮や保険の申し込み、パスポートや VISA などの申請。留学に向けて準備。 6月24日～留学開始
8月～9月	留学中(試験を受けたり、明治大学から指定された手続き、提出物をするなど) 9月11日 サマーセッション終了 帰国手続きや奨学金の申請など
10月～12月	留学報告書記入、単位認定手続き

## 留学体験記

留学しようと決めた理由	今まで一度も海外に行ったことがなく、また、自分の得意科目が英語だったこともあって、海外に長期間行くことで自分の英語が現地の人々にどこまで通用するのかということを実感するとともに、生きた現地の英語を体感することで今後自分自身が成長するに於いての糧になると思ったからです。また、言語だけでなく他国の文化も肌で感じたいと思ったからです。両親も私の留学に肯定的で後押ししてくれたこともあり、海外に挑戦してみようという意志が一層強まりました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	語彙力（単語力）をもっと上げておけばわからない単語も少なくなっていたと思うので、少なくとも頻繁に用いられる単語の意味がすぐに思い浮かぶよう、単語帳などで鍛えておけばよかったなと思います。また、日本に関する情報だけでなく他国（特に留学先の国や州）の基本情報を事前知っておけば、もっと会話を弾ませることが出来たと思います。しかし、授業内容などは現地に行ってからしかわからないこともあり、また、最終的には根気が必要になってくると思うので、基本的なこと（単語力、日常会話）をメインに学習しておけば大丈夫だと思います。
この留学先を選んだ理由	初めての海外ということもあって、まず国は英語の本場でありたくさんの人種が共存するアメリカに行きたいと思いました。そのあと、大学のレベルも高く、また、治安がアメリカの中でも最も平和だと言われているアーバインにあり、スタッフのサポートも手厚いと聞いていたので、このカリフォルニア大学アーバイン校を選びました。また、2人部屋の寮に住むことは頻繁に現地生と関わることのできる貴重な機会、経験だと思ったこともアーバイン校を選んだきっかけです。
大学・学生の雰囲気	アジア系（特に中国系）アメリカ人が多かったです。大学全体の雰囲気は広大で落ち着いていました。学生はみんな真剣に授業に取り組んでいて、また、授業中教授に積極的に質問する生徒がいたりと全体的にまじめという印象を受けました。また、サークルなどの団体の活動もキャンパス内で盛んで、勧誘をしている団体もありました。キャンパス内で危険だと感じたことは特になかったです。現地の学生にわからないこと（場所など）を質問すると丁寧に答えてくれました。
寮の雰囲気	寮の雰囲気も大学同様落ち着いていました。フレンドリーな人が多く、一階の共同スペースでおしゃべりしたりするなど仲のいい友達もできました。映画観賞会が芝生の上で行われたり、ゲーム大会があったりするなどイベントもたくさん行われました。
交友関係	基本遊びに行く際は日本人の友達と遊びに行くことが多かったです。しかし、寮内や大きい学キャンパス内では他国の友達と楽しく会話したり、また、ルームメイトとも親しい関係を作れました。親しい（大学の）スタッフの方の娘さんたちとも仲良くなり、将来の夢や大学在学中にしておくべきこと、日本のアニメの話などを長時間して盛り上がることもありました。
困ったこと、大変だったこと	寮に浴槽がなくシャワーしかなかったり、トイレにウォシュレットがなかったりするなど、留学当初は些細なカルチャーショックを受けました。また、大学近くにはジャンクフードの店が多かったため、寮での自炊においては野菜を必ず食べるなどバランスを常に考える必要がありました。総菜やコンビニもあまりなかったため、買ってすぐに食べられるものが少なかったというのも大変だったことの一つです。ほかには、ルームメイトが部屋で通話をしながらゲームをすることが多く、勉強に集中したいときは声がうるさいため一階の共同スペースで勉強していました。
学習内容・勉強について	専門用語が多く、また、内容も知らないことばかりだったので、授業についていくのは最初とても大変で、特に session1 の期間は夜遅くまで勉強していることが多かったです。しかし、session2 の頃になってくると徐々にアメリカでの生活環境に慣れてきたこともあって授業に対するノウハウもわかってきました。また、授業のスピードは速く、教授が言っていることが理解できないことも多かったので、そのようなときはためらわずに教授に聞きに行き、また、試験前には現地生とスタディグループを行うなどの対策を行いました。

課題・試験について	課題というより復習が特に大変でした。毎授業スライド 20～40 枚くらいのペースで進むので、試験前でなくても電子辞書で単語を調べたり、授業でやった範囲の振り返りのために毎日夜遅くまで勉強していました。また、中間試験と期末試験の間が短いので、中間試験を終えたと思ったら次は期末試験の勉強をしなくてはならなかったので忙しかったです。しかし、スタディーガイドを活用したり、わからないところは事前に教授に質問したりすることで、だんだんとコツをつかめたかなと思います。
大学外の活動について	UCI のアクティビティを利用してビーチや野球観戦に行ったり、友達とディズニーランドや USH、ロサンゼルス観光に行ったりしました。寮からジムが近かったので、たまにランニングや卓球、テニスなどをしたりしました。また、日本食のスーパーやレストランに連れて行ってもらったこともありました。寮でのイベント(ボードゲームや映画上映、ゲーム大会)にも積極的に参加しました。勉強の気分転換をするときはよく音楽を聴いたり買い物に行ったりしていました。
留学を志す人へ	留学は気持ちの面でも金銭面でもそう簡単に決断できることではないと思います。けど、いざ行ってみたら普段とは違う世界観を体感できると思いますし、それは必ずこれからの人生の糧になると思います。また、海外での生活への不安も大きいと思いますが、現に今まで一度も海外に行ったことがない心配性の自分でも楽しく過ごすことが出来ました。ですので、もし留学に少しでも興味があれば、一歩踏み出してみてください。

## 一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	復習	授業	復習	授業	復習	復習	遊び
	復習	予習	復習	予習	復習	復習	遊び
午後	課題	授業	課題	授業	遊び	遊び	遊び
	ジム	ジム	ジム	ジム	遊び	遊び	遊び
夕刻	予習、課題	復習	予習、復習	復習	課題	復習	復習
夜	予習	復習、課題	予習	復習	課題	復習、課題	復習、課題